

D3 6/8 (水) 14:00 ~ 15:30

オープンサイエンス時代の知の共有を支える ー メタデータ流通ガイドライン

Supporting the sharing of knowledge in the open science generation:
the Guidelines for Metadata Distribution in Japan

河口 由佳 (国立国会図書館 電子情報部 電子情報サービス課)

片岡 朋子 (JPCOAR コンテンツ流通促進作業部会, お茶の水女子大学 図書・情報課 主任)

飯野 勝則 (これから委員会 システムワークフロー検討作業部会, 佛教大学 図書館専門員)

大波 純一 (NIIオープンサイエンス基盤研究センター 特任准教授)

原田 隆史 (国立国会図書館 非常勤調査員、同志社大学 免許資格課程センター 教授) [進行・モデレータ]

関根 美穂 (国立国会図書館 電子情報部 電子情報流通課長)[セッションチェア]

知の共有を支える様々なメタデータの例

- 図書/雑誌 (CATP/MARC21/BIBFRAME...)
- 電子ジャーナル/電子ブック (KBART...)
- リポジトリ (JPCOARスキーマ/junii2/DCMIメタデータ語彙...)
- デジタルアーカイブ
(JPCOARスキーマ/DCMIメタデータ語彙/MARC21...)
- 研究データ
(DataCite Metadata Schema/「メタデータの共通項目」*...)
- 国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述
(DC-NDL) /DC-NDL(RDF)
- ジャパンサーチ連携フォーマット

メタデータ流通ガイドライン

- 各データを包含する「共通メタデータ」ではない
 - 資料種別やサービスの特性に応じて、各機関、各種団体で必要なメタデータは異なる
- 各機関の連携，相互運用のためには各種メタデータ間の関係の定義，流通させるためのガイドラインが必要
- NDL, JST, NIIを中心として作成されたガイドラインのドラフト版が2022/3/18に公開された
- 今回はNDL, JPCOAR, これから委員会，さらにNIIの方々に登壇いただいで発表を行ってもらい，また討議する

メタデータ流通ガイドラインの検討体制

